

伝統ある小倉織を、国境を越えて世界へ発信 (有限会社 小倉クリエーション)

会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地:福岡県北九州市小倉北区大手町
3-1-107
- 代表者:代表取締役社長 渡部 英子
- 資本金:1,000万円
- 売上高:7,700万円
- 従業員数:10名
- URL:<http://shima-shima.jp/>

①事業概要

<小倉織製品の製造・販売>

小倉織は江戸時代の豊前小倉藩の特産物で、縦縞を特徴とした良質で丈夫な木綿製品である。

明治時代以降いったん途絶えた小倉織は、昭和59年、染織家 築城則子氏により現代の布として復活する。

有限会社小倉クリエーションは、同氏の作品を製造・販売することで平成8年に創業、伝統的な地場産品の特徴に現代的なデザインを取り入れた製品は高い評価を受け、JR九州特急の社内インテリアの一部にも採用されている。

②海外展開概要

<欧州への販路開拓>

北九州の伝統である「小倉織」を現代のイメージに合うようデザインし、欧州に向けて、生地とインテリア製品を販売。スイスを拠点としたエージェントとの契約を締結し、高級百貨店・セレクトショップ向けに展開することに成功。

平成23年は、パリで開催された世界最高峰のインテリア・デザインの見本市メゾン・エ・オブジェに3回目の出展。フランス・イタリア・ドイツ・米国など多数のブランドバイヤー・デザイナーと引き合いがあり、継続的に商談中。平成23年4月にはイタリアのミラノ・サローネにも出展しており、更なる展開の拡大を目指している。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

同社の製品は、平成19年に経済産業省の「生活関連産業ブランド育成事業(sozo_comm)」に採択され、平成20年2月、フランクフルトでの生活用品国際見本市「アンビエンテ」に出展。ここで人気を集め大きな手ごたえを掴んだことから、同社の本格的な海外市場開拓が開始された。

平成20年からは、JETROの輸出有望案件発掘支援事業による支援が決定し、販売戦略立案などを含め各種支援が展開された。

成功の秘訣は、欧州の展示会出展を活用してビジネスパートナーを発掘し輸出に繋げたこと。

④今後の事業展開について

ヨーロッパを中心に、引き続き海外展開を進めていく。同社のコンセプトはボーダーレス。伝統ある小倉織を、国境を越えて世界へ発信していく。



平成23年メゾン・エ・オブジェのブースにて、フランスのバイヤーと撮影。
右が社長の渡部英子氏、左が染織家・デザイナーの築城則子氏。

(平成24年10月現在)

データ出所:九州経済産業局